

## 第4章 まとめ

### (1) 今後の養成研修の在り方について

今回の調査研究をとおして、近年実施してきた養成研修には、一定の有効性があったことが確認できたが、同時に、家庭教育支援の活動活性化に向けて、養成研修を見直すポイントも探ることができた。それらについて、以下に列挙する。

#### **より多様な方の受講を促す**

活動を活性化するには、多くの方の養成研修修了と、活動への参加が必須である。広報等も含めた研修の実施方法や修了条件等を見直し、多くの方々にとって受講しやすい研修となるような受講システムの改善やサポートの充実が必要であろう。

#### **家庭教育支援の活動とつながりの深い知識やスキルをもつ方の受講を薦める**

聞き取り調査の対象として充実した活動の実態を御教示いただいた方々に共通して確認できた『活動充実につながるポイント』として、活動が家庭教育支援にとどまらないことや、子育て・家庭教育の関係機関とのつながりがあること、多様な人脈があること、家庭教育支援の活動につながる高い知識やスキルがあることなどがあつた。これらの条件に当てはまる方は家庭教育支援の活動との親和性が高いと考えられるため、積極的に受講を薦めることで活動の活性化までつなげられる可能性がある。特に、学びの深まりと活動への移行には相関関係が認められたことから、2つの養成研修をどちらも修了できるよう働きかけることは、活動の充実・活性化に向け意義の深い取組だと考えられる。

#### **家庭教育支援への興味関心・活動意欲を高める**

質問紙調査の結果からは、受講者を活動までつなぐためには家庭教育支援への興味関心と活動への意欲を高めることが重要であることが示された。そのためには、「家庭教育の理念やその支援活動の必然性などについての理解を十分に深める」ことや、「県内外の活動の優良事例を紹介し、活動する際の要点を考える」ことといった、家庭教育支援活動の意義や魅力、活動充実に向けた要点等を、受講者がより深く理解できるようにするための研修内容の工夫や見直しが必要となる。併せて、近年の子育て家庭を取り巻く現状や課題といった、家庭教育支援にかかわる「流行の」内容について理解を促進できる機会となる取組を充実することも、興味関心・活動意欲の向上につながると考える。

#### **各研修の内容充実を図る**

家庭教育支援プログラム指導者研修においては、受講者が市町行政関係職員と一般の参加者に大別されることから、それぞれの属性に応じた役割を活動の現場で着実に果たすことにつながる知識やスキルの効果的な育成を目指す工夫が必要である。また、家庭教育オピニオンリーダー研修においては、主に子育て家庭を取り巻く現代的な課題に対応するための学びや、活動の充実に役立つ知識やスキルなどのブラッシュアップ等、活動の活性化に向けて学びを継続する必要性を伝えることや、それに資する機会の案内を含めて受講者・修了者・活動者の学びをサポートする取組を

充実させることが必要である。

## (2) 研修の学びを生かした養成研修修了者の活動の在り方について

修了者が研修等での学びを生かし、各地域で充実した活動を実施していくために確認すべきポイントを、以下に列挙する。

### **ニーズに対応した活動となっているか**

那須塩原市や芳賀町の取組のように、アンケート調査の結果を基に事業を展開することや、参加者の声を確認しながら事業を見直し改善することは、その効果を高めるなど活動の充実や活性化につながる重要な取組であろう。これ以外にも実態を知るには様々な方法があるだろうが、実態を活動の根拠とすることはその必然性を高める上で欠かせないであろう。

### **地域での家庭教育支援の活動実践に必要な知識やスキルが充実しているか**

活動者の本業を遂行する上で必要な能力を応用できる場合もあるが、本章の(1)でも述べたとおり、基本的には研修修了後も学びを継続することが活動の充実・活性化につながると考えるべきである。

### **活動をサポートする体制が充実しているか**

団体等の共に活動する仲間が一つのチームとして機能できれば、活動の充実に一歩近づくことができる。また、団体内では解決が困難な場合でも、他地区の団体や市町の関係課、関係機関、県等との(からの)連携や協力、サポート体制が充実していれば、その改善が図られる可能性が高まる。そして、サポート体制充実のためには、今回の調査のような研修修了者や活動者からの「フィードバック」を受ける機会を設ける必要がある。

これまでの研修評価は、研修実施期間に集めたアンケートからの情報を中心に行ってきた。しかし、研修の先にはその修了者による各地での活動があることを考えると、今回実施した追跡調査のように、アウトカム評価で研修と実際の活動との結びつきの様子を確認することで、より正確で充実した研修評価とすることができる。これは研修の見直しや改善の方向性を定めるエビデンスを充実させることと同義であり、行う意味は大きい。

活動を充実させるために、定期的に今回のような調査を実施し、その実態をできるだけ広く把握することは大変重要であるといえる。そして、これによって得た情報を各市町や関連団体等の間で共有し、一体感を持って活動団体を支援できる体制を整備することが必要であろう。